

- 1 派遣期日 平成29年8月7日（月）
- 2 研修先 学校名 筑波大学附属小学校
所在地 〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1
<http://www.elementary-s.tsukuba.ac.jp>

3 研修内容 第2回 夢の国語授業研究会 夢の国語授業をつくるために

『夢の国語授業』子どもが夢中になって活動し、授業をしている教師も楽しいと実感できて、しかも子どもたちに確かな言葉の力がついていく。

(1) 提案授業・協議会

①提案授業Ⅰ（今野 智功先生 福島大学附属小学校）

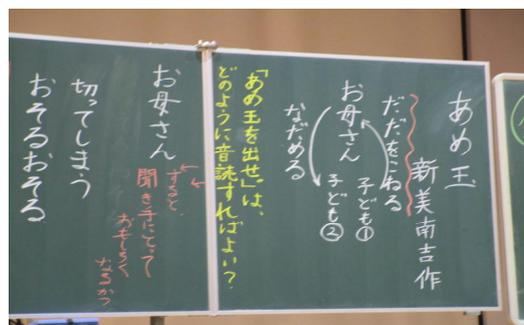
授業テーマ 子どもが主体的に学びに向かうための学習課題のあり方

単元名 物語に親しもう～新美南吉の世界～

学習材 『あめ玉』（光村図書 5年）

○主体的に学ぶ姿を引き出すための学習課題の共有

- ・あらかじめ物語の冒頭部から展開部までを読ませておく。
- ・お母さんは真っ青になって～から終末部までを読む。
- ・「あめ玉を出せ」という会話文をゆっくり、やさしく音読することを提唱する。



↓

- ・「いや、そのように音読するのはおかしい。」のようにつぶやく子どもに対し、そう答えた理由を問い返していくことで本時の学習課題を共有していく。

「あめ玉を出せ。」は、どのように音読したら良いか。

○心情の変化に着目させるための問い返し

- ・「お母さんは真っ青になって」、「子どもたちを、切ってしまうと思ったのです。」などの叙述を根拠に学習課題を話し合う。
- ・もしかしたら、「あめ玉を出せ」は、優しく言ったらいいんじゃないの？
- ・あめ玉をあげて優しいんだから優しく言ったのでは？
- ・お母さんは、侍のことを誤解しているのでは？

○協議会

- ・子どもたちから学習課題が自然に出されすばらしい。
- ・一つの発問で話し合いが深まっていった。子どもの発言に対する問い返しの言葉がよく練られていた。
- ・板書は、学習の歩み分かるような工夫をすれば良いと思う。
- ・最後にもう一度、「どう読むといいと思うか」と「そう考えた理由」を書かせ振りかえると本時の学習での読みの深まりが確認できたと思う。

②提案授業Ⅱ（青木 伸生先生 筑波大学附属小学校）

提案趣旨 フレームリーディングで説明文を読む授業展開を考える。

単元名 文章のまとまりを捉えて読む。

学習材 『アップとルーズで伝える』（光村図書 4年）

○『フレームリーディング』

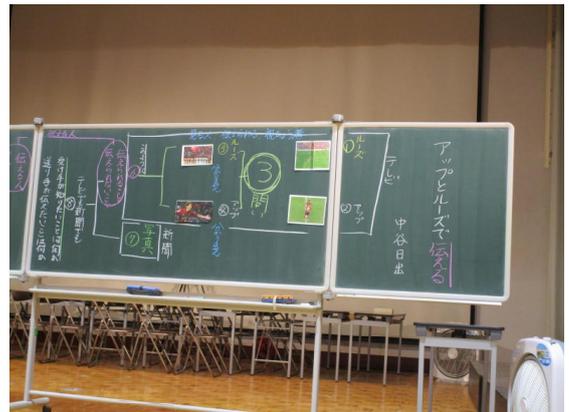
- ・フレームリーディングとは、文章を丸ごと読み、文章全体の枠組みをとらえるという読みの考え方。文章全体の枠組み（説明的文章）は大きく二つ…要旨と文章構成
- ・フレームリーディングの三つのステップ
俯瞰（高いところから全体を見下ろす）－焦点化－統合（リフレーミング）
- ・文章を詳細に読む力と全体の枠組みを捉える力の両方の読解力をつけていく必要がある。
- ・文章の構造や内容を俯瞰するためには、「数える」という切り口が有効である。
- ・焦点化して、詳細に理解するためには「選ぶ」という切り口が有効である。

○文章の書きぶりをもとに内容を捉える

- ・本教材は「伝える」という発信者の側面と「伝わる・わかる」という受信者の側面という両面から書かれている。このことを整理すると、筆者の主張やそのための論の展開の工夫が見えてくる。

○協議会

- ・構造的で文章構成がよく分かるすっきりとした板書が素晴らしい。
- ・この文章で一番大切な段落を選ばせることで⑥段落と⑧段落に着目できる。
- ・「このように」、「～なのです。」「～しているのです。」などの表現に着目して考えている。
- ・「アップとルーズ」、「TV と新聞」、「送り手と受け手」などの対比の関係を捉えておくことが大切なポイントとなる。



(2) ワークショップ 読解力を高める（新潟県糸魚川市立青海小学校 谷内 卓生）

①読解力を高める授業の5ステップ

- ステップ1 場面分け
- ステップ2 基本4場面のとらえ
- ステップ3 あらすじまとめ
- ステップ4 クライマックス場面の3つの問い
- ステップ5 作品の心

②主体性を高める授業の5つの要素

- I 前にやったという見通し
- II できたという達成感
- III 私ならこうするという自己決定・選択
- IV 「知りたい」という思考の広がり
- V 「私の作品世界」という自己肯定感

(3) 講演 学習材『お手紙』（二瓶弘行 筑波大学附属小学校）

- ・クライマックス場面での中心人物の心情の変化

- ① 何が変わったのか。 作品の心 その物語が読者である自分に、
- ② どのように変わったのか。 ⇒ 「生きるってね、人間ってね」と、
- ③ どうして変わったのか。 最も強く働きかけてくること。



自分の言葉で表現し、仲間と共有する。

4 感想

今回の研修では、子どもたちが主体的に生き生きと学習する姿が見られた。文学的文章の授業では、「そのように音読するのはおかしい」のようにつぶやく子どもに対して、そう考えた理由を問い返していくことで読みを深めていく様子がすばらしかった。説明的文章の授業では、フレームリーディングの三つのステップによって、文章を詳細に読む力と全体の枠組みを捉える力を向上させることができることが分かった。ワークショップ・講演では、課題研究の進め方の参考になる実践や代表的な学習材の授業のポイントを聞くことができ、大変有意義な研修となった。これからの授業研究・実践に活かしていきたい。